

2021年1月29日

Vol
144

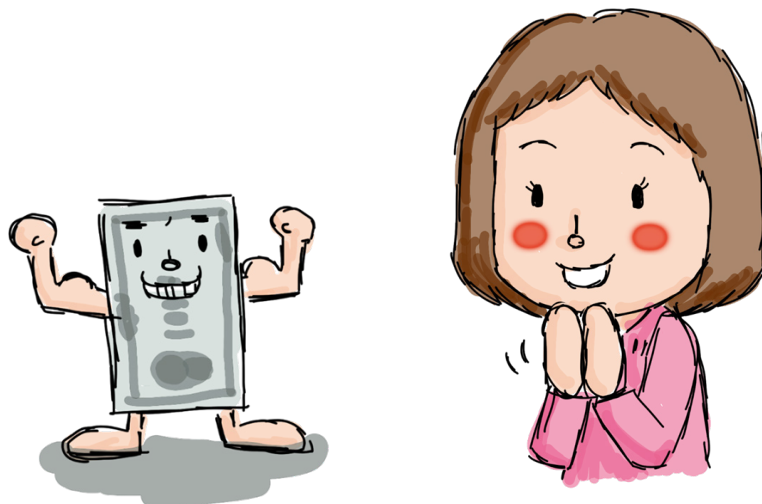
投資信託における分配について、 あらためて整理しておきましょう。

2020年2月頃から、新型コロナウイルスの感染拡大などに伴って急落した世界の株式でしたが、その後概ね回復傾向を辿り、12月には、米国の主要株価指数が最高値を更新したほか、日本の日経平均株価は30年ぶりの高値を更新するなど、高値圏で推移しています。*

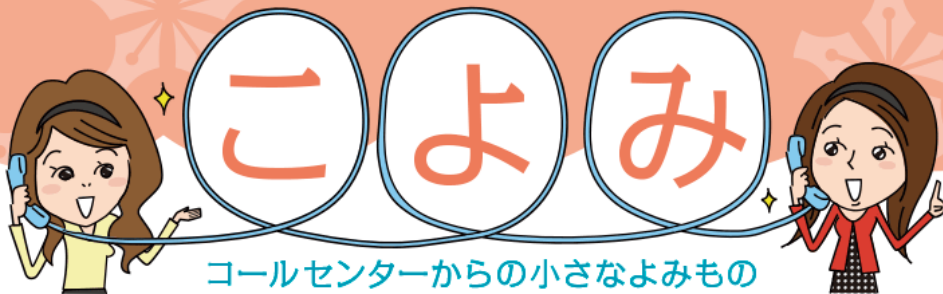
*本資料作成日時点

株式ファンドのなかには、基準価額が大きく上昇しているものも少なくないようです。投資信託は、年1回以上の決算を行なうことが義務付けられており、決算時には分配を行なう場合があります。分配の額はその期の基準価額の水準などから総合的に決められるので、決算前に大きく基準価額が上がっている場合には、多額の分配を出すこともあります。

そのためか、コールセンターには分配に関するたくさんの質問が寄せられています。そこで今回は、投資信託の分配についてあらためて整理してみたいと思います。



■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



分配は「お得なモノ」ではありません。

分配についてまず押さえておきたいのは、「分配を出すと、基準価額がその分だけ下がる」という事実です。もし分配金が1,000円出たのであれば、基準価額は分配前と比べて1,000円下がることになります。(図1)

投資信託という箱から現金を外に出すわけですから、その分だけ純資産が減り、総口数で「割り算」した結果である基準価額が下がるわけです。分配金を受取ると、なんだか得した気持ちになるというのも理解できなくもないのですが、分配は決して「お得なモノ」ではないのです。

簡単に言えば、投資信託を一部解約しているのと経済的には何ら変わらないのが、投資信託における分配金です。

(図1) 分配と基準価額の関係





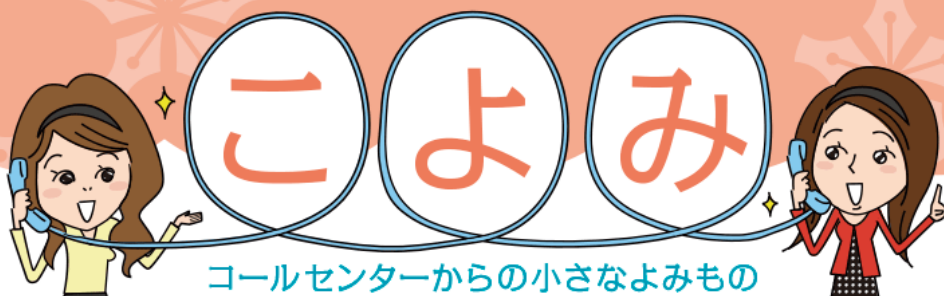
日興アセット流！多額の分配金を受取ったときの考え方

とはいえ、せっかく受け取る分配金です。とくにこれまでよりも多くの分配金を受取ったときにどのように考えるとよいか、日興アセット流の考え方についてご紹介したいと思います。

①値上がり分を「一部解約」したと考えて、楽しく使う！

値上がり分などを、まさに「一部解約」したのだと考えて、堂々と楽しく使うことを考えるのもひとつです。いつもよりちょっと豪勢に、食事や旅行などに出掛けてみるのもいいですし、それらが難しいときは、ネットを使って日本各地の名産品をお取り寄せしてみるというのもオススメです。





日興アセット流！多額の分配金を受取ったときの考え方

②再びマーケットに参加するのだってアリ！でもそのときに押さえておきたいこと。

多額の分配が出たということは、足もとのマーケットが好調な場合が多いものです。ですから、使ってしまうのではなく、新たな投資に振り向けるのも、もちろん選択肢として「アリ」だと言えそうです。

ただし、その時は積極的に分配を行なわないタイプ（一例：○△ファンド（1年決算型））を候補に入れることを忘れないようにしましょう。分配金は、一部解約したのと同じことですから、その分投資元本を減らしていることになるからです。

マーケットに居続けて大きく増やすことをめざすなら、積極的な分配はしないタイプで長く持ち続けるのが王道と言えそうです。



nikko am

2 コールセンター
0120-25-1404

営業時間 平日 9:00～17:00

